

平成22年度当初予算案主要事項説明資料

農 林 水 産 部

主要事項説明資料目次

農林水産部

ページ	事業名	担当課(室)
1	農業ビジネス支援事業費	担い手支援課
2	農と環境を守る地域協働活動支援事業費	農村振興課、農産課
3	中山間地域等直接支払事業費	農村振興課
4	担い手活用農地バンクシステム整備事業費	担い手支援課
5	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費	担い手支援課
6	ふるさと共援活動支援事業費	農村振興課
7	里力再生事業費	農村振興課
8	共に育む「命の里」事業費	農村振興課、担い手支援課
9	「いただきます。地元産」プラン推進事業費	食の安心・安全推進課
10	ブランド京野菜等倍増戦略事業費	農産課、研究普及ブランド課
11	伸ばそう京の特産産地づくり支援事業費	農産課
12	「茶の極み塾」支援事業費	農産課
13	明日につなぐ農業支援事業費	農産課、担い手支援課
14	きょうと「食の安心・安全」確保事業費	食の安心・安全推進課
15	京都モデルフォレスト創造事業費	モデルフォレスト推進課
16	低コスト高生産システム技術養成事業費	林務課
17	野生鳥獣被害に強い地域づくり総合対策事業費	森林保全課
18	森林の恵みを届ける京の森整備事業費	林務課、森林保全課、 モデルフォレスト推進課
19	地産地消推進対策費	畜産課、水産課
20	緑の公共事業費	共通
21	農林水産部関係公共事業費	各課
22	消費者あんしんサポート事業費	食の安心・安全推進課
23	「京の農と森」未来を担う人づくり推進事業費	担い手支援課、林務課、 モデルフォレスト推進課

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農業ビジネス支援事業費		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 農商工等連携による農業ビジネスの取組を推進し、農業経営の新たな展開を図るため、総合的支援窓口の農業ビジネスセンター京都が交流会の開催によるビジネスマッチングや専門家の派遣など、発展段階に応じた支援を行う。</p> <p>2 事業主体 農業ビジネスセンター京都（（社）京都府農業開発公社）</p> <p>3 事業内容</p> <p>（1）農商工連携等支援事業 農業ビジネスに関する情報を提供するとともに、「ビジネスサポートチーム」を設置し、農林水産業・商工業・流通業の専門家で構成される「サポーター」による掘り起こしやビジネスマッチング、企業経営者・税理士等で構成される「応援隊」による具体的な課題に対する助言・指導など、発展段階に応じた支援活動を行うのに必要な経費に対する助成</p> <p>（2）農業ビジネスセンター京都設置運営支援事業 事業推進に係る活動経費に対する助成</p>		
担当課・係名	担い手支援課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4908

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農と環境を守る地域協働活動支援事業費																
予算額	166,340千円	新規・継続の別	継続														
事業内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 目的 対象 方法等 </div>	1 趣 旨 地域ぐるみで農地や農業用水等の保全を行う共同活動と、化学肥料及び化学農薬使用の低減の取組等を総合的に支援することにより、農地・水・農村環境といった資源の保全を図るとともに、環境への負荷を低減する営農活動を推進することにより、地域コミュニティづくりをはじめとした地域力の再生を図る。																
	2 事業内容																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 70%;">事 業 内 容</th> <th style="width: 20%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">農地・水・農村環境保全向上活動支援事業</td> <td>農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの共同活動を総合的に支援する。</td> <td rowspan="2">千円 154,700</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円ほか</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">環境保全・自然共生農業推進事業</td> <td>上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。</td> <td rowspan="2">千円 11,640</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円ほか</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>			区 分	事 業 内 容	予算額	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの共同活動を総合的に支援する。	千円 154,700	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円ほか</td> </tr> </table>	支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円ほか	環境保全・自然共生農業推進事業	上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。	千円 11,640	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円ほか</td> </tr> </table>	支援単価
区 分	事 業 内 容	予算額															
農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの共同活動を総合的に支援する。	千円 154,700															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円ほか</td> </tr> </table>		支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円ほか													
支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円ほか																
環境保全・自然共生農業推進事業	上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。	千円 11,640															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円ほか</td> </tr> </table>		支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円ほか													
支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円ほか																
担当課・係名	農村振興課 地域活性化担当 農産課 環境にやさしい農業推進担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 4917 075 - 414 - 4966														

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	中山間地域等直接支払事業費			
予算額	494,656千円	新規・継続の別	継 続	
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 趣 旨 耕作放棄地の増加等により国土の保全、水源のかん養等の多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保するという観点から直接支払を実施する。			
	2 事業概要 (1)対象地域：地域振興8法（特定農山村・山村・過疎・半島等）及び知事特認地域 (2)対象農用地：農振農用地区域内の一団の農用地（1 ha以上）であって、以下の基準を満たすもの ①急傾斜地（田 1/20、畑 15度以上） ②自然条件により小区画・不整形な田 ③緩傾斜地（田 1/100、畑 8度以上）、又は高齢化率・耕作放棄率の高い農用地で市町村長が特に必要と認めるもの (3)対象行為：集落協定等に基づき、5年間以上継続して行われる農業生産活動等 (4)対象者：集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う者 (5)実施期間：平成22年度～31年度（5年毎に見直し） (6)交付単価：（単位：円／10a）			
		急 傾 斜 （田 1/20～、畑 15度～）	緩傾斜等 （田 1/100～、畑 8度～）	
	田	21,000	8,000	
	畑	11,500	3,500	
	※加算単価		水 田	畑
	規模拡大加算		1,500	500
	土地利用調整加算		500	500
	法人設立加算		1,000	750
	小規模・高齢化集落支援加算		4,500	1,800
※ただし、農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項を実施しない場合には、上記単価に0.8を乗じた額とする。				
(7)実施主体：市町村				
(8)負担区分：				
	国	府	市町村	
8法地域	1/2	1/4	1/4	
特 認	1/3	1/3	1/3	
(9)平成22年度対象見込面積 5,139 ha（田：5,074 ha、畑：65 ha）				
担当課・係名	農村振興課 地域活性化担当	課・係 電話番号	075-414-4917	

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	担い手活用農地バンクシステム整備事業費																	
予算額	26,850千円	新規・継続の別	継続															
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨</p> <p>新規就農希望者や団塊世代の定年帰農者等の円滑な就農を支援するため、府農業開発公社に「担い手活用農地バンク」を設置・運営し、集落において利用可能な農地を紹介・斡旋する。</p> <p>また、認定農業者や農業法人等の経営拡大を支援するため、農地の団地的集積に係る促進費を交付するとともに、農の担い手ネットワークの推進による広域的な農地の利用調整や各種支援制度の紹介等を実施する。</p> <p>2 事業概要</p>																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>事業主体</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担い手活用農地バンク設置事業</td> <td>府農業開発公社</td> <td>・ 利用可能農地の情報を登録発信し、新規就農希望者等に紹介・斡旋 ・ 農業経営継承の支援</td> </tr> <tr> <td>担い手活用農地バンク普及啓発事業</td> <td>府 府農業会議</td> <td>・ 農地有効活用に向けた普及啓発 ・ 集落等の活動支援</td> </tr> <tr> <td>農地有効活用促進事業</td> <td>農地集積円滑化団体 府農業開発公社 市町村</td> <td>・ 農地の面的集積に係る促進費の交付 ・ 農地の面的集積を促進するためのコーディネーターの設置等 ・ 農地バンクが利用権設定した農地に係る管理耕作</td> </tr> <tr> <td>農の担い手ネットワーク推進事業</td> <td>府農業開発公社</td> <td>・ 認定農業者や農業法人等の経営拡大に係る広域的な農地の利用調整等</td> </tr> </tbody> </table>			事業区分	事業主体	事業内容	担い手活用農地バンク設置事業	府農業開発公社	・ 利用可能農地の情報を登録発信し、新規就農希望者等に紹介・斡旋 ・ 農業経営継承の支援	担い手活用農地バンク普及啓発事業	府 府農業会議	・ 農地有効活用に向けた普及啓発 ・ 集落等の活動支援	農地有効活用促進事業	農地集積円滑化団体 府農業開発公社 市町村	・ 農地の面的集積に係る促進費の交付 ・ 農地の面的集積を促進するためのコーディネーターの設置等 ・ 農地バンクが利用権設定した農地に係る管理耕作	農の担い手ネットワーク推進事業	府農業開発公社	・ 認定農業者や農業法人等の経営拡大に係る広域的な農地の利用調整等
	事業区分	事業主体	事業内容															
	担い手活用農地バンク設置事業	府農業開発公社	・ 利用可能農地の情報を登録発信し、新規就農希望者等に紹介・斡旋 ・ 農業経営継承の支援															
	担い手活用農地バンク普及啓発事業	府 府農業会議	・ 農地有効活用に向けた普及啓発 ・ 集落等の活動支援															
農地有効活用促進事業	農地集積円滑化団体 府農業開発公社 市町村	・ 農地の面的集積に係る促進費の交付 ・ 農地の面的集積を促進するためのコーディネーターの設置等 ・ 農地バンクが利用権設定した農地に係る管理耕作																
農の担い手ネットワーク推進事業	府農業開発公社	・ 認定農業者や農業法人等の経営拡大に係る広域的な農地の利用調整等																
担当課・係名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・係 電話番号	075-414-4942															

平成22年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費																	
予算額	28,375千円	新規・継続の別	継続															
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣旨 農林水産業の新たな担い手の確保を図るため、農林水産業への就業希望者の相談窓口として「農林水産業ジョブカフェ」を設置・運営する。 併せて、地域において技術習得から就農まで一貫して支援する「担い手養成実践農場」を設置することにより、円滑に新規就農できる総合的なシステムを構築する。</p> <p>2 事業概要 (1) 農林水産業ジョブカフェ事業</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">京都府（京都府農業会議に委託）</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="2"> 農林水産業ジョブカフェの設置・運営（京都テルサ内） ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動 </td> </tr> </table> <p>(2) 実践農場整備事業 就農希望者が研修を修了し、就農後も同じ地域・農地で継続して営農できる「担い手養成実践農場」の整備</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>府（一部を府農業開発公社に委託）</td> <td>市町村（補助金）</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td> ○農場運営管理者の設置及び研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ○研修期間中における技術指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担 </td> <td> ○農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ○農地の簡易整備費、住宅改修費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費 </td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td colspan="2">新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）</td> </tr> </table>			実施主体	京都府（京都府農業会議に委託）		事業内容	農林水産業ジョブカフェの設置・運営（京都テルサ内） ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動		実施主体	府（一部を府農業開発公社に委託）	市町村（補助金）	事業内容	○農場運営管理者の設置及び研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ○研修期間中における技術指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担	○農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ○農地の簡易整備費、住宅改修費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費	対象者	新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）	
	実施主体	京都府（京都府農業会議に委託）																
	事業内容	農林水産業ジョブカフェの設置・運営（京都テルサ内） ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動																
	実施主体	府（一部を府農業開発公社に委託）	市町村（補助金）															
事業内容	○農場運営管理者の設置及び研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ○研修期間中における技術指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担	○農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ○農地の簡易整備費、住宅改修費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費																
対象者	新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）																	
担当課・係名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・係 電話番号	075-414-4902															

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ふるさと共援活動支援事業費		
予算額	11,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>過疎化・高齢化の進んだ農村集落と、大学や企業、NPO等の地域外の協力者で構成する「ふるさと共援組織」の活動を支援することにより、過疎化・高齢化の進んだ農村集落の再生を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 共援組織活動支援事業（共援組織） 共援組織の活動に要する経費に対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落の再生計画づくり ・企業等に対する共援組織への誘致活動 ・共援組織が行う各種取組の準備や実施 <p>補助率：10/10（府：1/2，市町村：1/2）</p> <p>(2) 共援組織実践展開事業（共援組織） 集落再生のために展開する実践活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の試作、PR・販売活動 <p>補助率：2/3（府：1/3，市町村1/3）</p> <p>(3) 共援活動推進事業（京の田舎ぐらし・ふるさとセンター等） 共援活動を推進するための活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村地域への現地見学ツアーの実施 ・企業や団体等に対して地域資源をPRするマッチング会の開催 ・田舎暮らし等に関する相談活動の実施 <p>(4) 伴走支援活動事業（京都府） 共援組織への支援活動</p>		
担当課・係名	農村振興課 地域活性化担当	課・係 電話番号	075-414-4900

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	共に育む「命の里」事業費 里 力 再 生 事 業 費		
予算額	21,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>農村地域は、安全な食料や水、空気の供給など府民生活を支えるいわば「命の里」であるが、後継者不足や農地の荒廃など厳しい状況にある。そのため、過疎化・高齢化集落を含む農村地域の複数集落による連携組織の設立や、地域の実情に応じた里力再生計画の策定、再生計画に基づく活動を支援して、地域と共に協働することにより、地域の絆を回復し、知恵を出し合い課題解決に取り組む力である「里力」を再生し、過疎化・高齢化の進む農村地域の再生を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 地域連携組織設立活動支援事業（地域連携組織）</p> <p>地域連携組織等の運営・活動に要する経費に対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 里力再生計画づくり ・ 地域団体との連携・調整や各種事業の実施など地域連携組織の運営 ・ 地域資源の活用に向けた調査・検討 ・ 地域をまとめ、計画づくりや事業実施の調整等を行う里力再生推進員の設置 ・ 地域課題の解決に向けた適地適策事業の実施 <p>補助率：府 1 / 2、市町村等 1 / 2</p> <p>(2) 里力再生推進事業（京都府）</p> <p>地域連携組織の設立や連携組織間の連絡調整、連携組織と都市住民等との交流促進等を支援するため、府が連携・調整活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府、市町村、外部専門家等が行う連携・調整活動 ・ 地域連携組織等の運営や事務処理等を支援する行政職員の配置・活動 		
担当課・係名	農村振興課 地域活性化担当	課・係 電話番号	075-414-4906

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	共に育む「命の里」事業費 共 に 育 む 「 命 の 里 」 事 業 費														
予算額	572,000千円	新規・継続の別	継 続												
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 後継者不足や農地の荒廃など厳しい状況にある農村地域において、複数集落が連携・協力して生活環境基盤や農業生産基盤、営農基盤を維持保全するために取り組む活動等を支援することにより、農村地域の再生を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1" data-bbox="370 911 1399 1890"> <thead> <tr> <th data-bbox="370 911 507 981">区分</th> <th data-bbox="507 911 1222 981">事業内容</th> <th data-bbox="1222 911 1399 981">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="370 981 507 1288">生活環境基盤</td> <td data-bbox="507 981 1222 1288">未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など</td> <td data-bbox="1222 981 1399 1288">千円 200,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="370 1288 507 1608">農業生産基盤</td> <td data-bbox="507 1288 1222 1608">劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など</td> <td data-bbox="1222 1288 1399 1608">千円 320,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="370 1608 507 1890">営農基盤</td> <td data-bbox="507 1608 1222 1890">複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織 等 【補助率】1/2以内 【対象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など</td> <td data-bbox="1222 1608 1399 1890">千円 52,000</td> </tr> </tbody> </table>			区分	事業内容	予算額	生活環境基盤	未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など	千円 200,000	農業生産基盤	劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など	千円 320,000	営農基盤	複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織 等 【補助率】1/2以内 【対象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など	千円 52,000
区分	事業内容	予算額													
生活環境基盤	未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など	千円 200,000													
農業生産基盤	劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など	千円 320,000													
営農基盤	複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織 等 【補助率】1/2以内 【対象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など	千円 52,000													
担当課・係名	農村振興課 地域活性化、基盤担当 担い手支援課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4906,5048 075-414-4908												

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「いただきます。地元産」プラン推進事業費		
予算額	6,500千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔目的〕 対 象 方法等	1 趣 旨 ▶ 次代を担う子ども達等に、給食を通じ、より安心して新鮮な地元産農産物を提供するとともに、地域の食や農への理解促進を図る。		
	2 内 容		
	事業名 地元産米の給食利用 推進事業	事業内容 市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成	事業費 千円 6,000
「いただきます。地元産」プラン推進事業	・地元産農産物を利用した学校給食が実施されるよう推進 ・地元産農産物の利用に意欲的な取組を行った病院・福祉施設等を「たんとおあがり。京都府産」施設として認定し、拠点づくりを推進 ・地域の食や農への理解を図る取組を推進	500	
担当課・係名	食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当	課・係直通 電話番号	075-414-5652

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ブランド京野菜等倍増戦略事業費												
予算額	98,602千円	新規・継続の別	継続										
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	○京野菜こだわりプロジェクト推進事業費 84,602千円 1 趣 旨 京都ならではの環境にやさしい農業への取組や、栽培方法等に係る情報の提供等を要件とした「京都こだわり栽培」の総合的な推進により、消費者等への信頼感を向上させ、ブランド京野菜の付加価値を高める。 2 内 容 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京野菜こだわり技術の実証、普及事業</td> <td>○土づくりの普及・啓発 ○環境にやさしい農業技術の実証・普及</td> </tr> <tr> <td>京野菜こだわり産地支援事業</td> <td>○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援</td> </tr> <tr> <td>京都こだわり生産認証事業</td> <td>○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	事業内容	京野菜こだわり技術の実証、普及事業	○土づくりの普及・啓発 ○環境にやさしい農業技術の実証・普及	京野菜こだわり産地支援事業	○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援	京都こだわり生産認証事業	○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営		
	事業名	事業内容											
京野菜こだわり技術の実証、普及事業	○土づくりの普及・啓発 ○環境にやさしい農業技術の実証・普及												
京野菜こだわり産地支援事業	○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援												
京都こだわり生産認証事業	○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営												
	○ブランド京野菜等倍増戦略推進事業費 14,000千円 1 趣 旨 確かなものづくりにより京野菜の魅力を更に強化し、ブランドイメージを高めるとともに、ブランド京野菜を多くの消費者・流通関係者にPRし、需要の拡大を図る。 2 事業内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旬のブランド産品PR</td> <td>○「京マーク」とブランド産品の「旬」を地域情報誌にPR広告</td> </tr> <tr> <td>ブランド京野菜ファン層支援拡大</td> <td>○京マークの価値の周知のため、ポスター、チラシ等によるPR ○京野菜ファンクラブの運営（HP、メルマガ作成）</td> </tr> <tr> <td>府内戦略構築</td> <td>○京野菜マイスターの活動支援 ○京野菜検定及び検定前事前講習会 ○ブランド産品の生産現場探訪ツアーの企画、支援</td> </tr> <tr> <td>首都圏等戦略構築</td> <td>○「ほんまもん京野菜取扱店」の開拓（開拓員の設置含む）・選定 ○ブランド京野菜フェアの開催、試食販売の実施 ○京野菜マイスターによる野菜ソムリエへの講習会、試食会 ○首都圏ホテルでのブランド京野菜等グルメ企画の実施</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	事業内容	旬のブランド産品PR	○「京マーク」とブランド産品の「旬」を地域情報誌にPR広告	ブランド京野菜ファン層支援拡大	○京マークの価値の周知のため、ポスター、チラシ等によるPR ○京野菜ファンクラブの運営（HP、メルマガ作成）	府内戦略構築	○京野菜マイスターの活動支援 ○京野菜検定及び検定前事前講習会 ○ブランド産品の生産現場探訪ツアーの企画、支援	首都圏等戦略構築	○「ほんまもん京野菜取扱店」の開拓（開拓員の設置含む）・選定 ○ブランド京野菜フェアの開催、試食販売の実施 ○京野菜マイスターによる野菜ソムリエへの講習会、試食会 ○首都圏ホテルでのブランド京野菜等グルメ企画の実施
事業名	事業内容												
旬のブランド産品PR	○「京マーク」とブランド産品の「旬」を地域情報誌にPR広告												
ブランド京野菜ファン層支援拡大	○京マークの価値の周知のため、ポスター、チラシ等によるPR ○京野菜ファンクラブの運営（HP、メルマガ作成）												
府内戦略構築	○京野菜マイスターの活動支援 ○京野菜検定及び検定前事前講習会 ○ブランド産品の生産現場探訪ツアーの企画、支援												
首都圏等戦略構築	○「ほんまもん京野菜取扱店」の開拓（開拓員の設置含む）・選定 ○ブランド京野菜フェアの開催、試食販売の実施 ○京野菜マイスターによる野菜ソムリエへの講習会、試食会 ○首都圏ホテルでのブランド京野菜等グルメ企画の実施												
担当係名	農産課 環境にやさしい農業推進担当 農産課 京野菜振興担当 研究普及ブランド課 ブランド推進担当	課・係直通 電話番号	075-414-4944 4944 4940										

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	伸ばそう京の特産産地づくり支援事業費		
予算額	64,934千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	1 趣 旨		
	<p>中小規模農家が多い本府農業実態を踏まえ、環境等にこだわった市場競争力の高い京都米づくりと有利販売を促進するとともに、実需業界からの評価が高い小豆、黒大豆を中心に、幅広い生産・出荷対策を講じ、京都らしい持続的な特産産地づくりを進め、収益性の高い水田農業の確立を図る。</p>		
	2 事業概要		
	(1) 京の米 産地づくり事業費		41,974千円
	事業内容		
	○特別栽培米等の生産に必要な農業機械への助成		
	○特別栽培米等の生産・出荷体制整備等に係る活動支援		
	○食味ランキング「特A」獲得に向けた食味向上促進、良食味栽培モデルほ場の設置 等		
	○米政策改革に係る地域水田農業推進協議会等の活動支援等		
	(2) 「食べよう京都米」 作戦推進事業費		1,500千円
事業内容			
○京都産米の食味試験、残留農薬検査等安心感向上対策への助成			
(3) 京の黒大豆・小豆等産地づくり事業費		21,460千円	
事業内容			
○小豆、黒大豆生産に係る農業機械への助成			
○新たな産地づくりのための実証活動への助成			
<ul style="list-style-type: none"> ・生産、実需者、販売者等関係者による情報交換会等実施 ・生産者部会づくりに対する助成 等 			
○飼料用米・米粉用米・麦・白大豆等に係る農業機械整備、生産・利用体制づくり等への助成			
担当課・係名	農産課 京の米・豆・保険担当	課・係 電話番号	075-414-4955

平成 2 2 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「茶の極み塾」支援事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 北部地域の茶業に新規参入した担い手が、製茶技術や先進的栽培管理技術を習得するために京都府茶業会議所が設置する、「茶の極み塾」の活動を支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)事業実施主体 茶の極み塾</p> <p>(2)事業期間 平成21～23年度</p> <p>(3)対 象 者 北部地域の茶業に新規参入し、基礎的な茶園栽培管理技術を習得した担い手</p> <p>(4)研 修 内 容 ○製茶技術研修 てん茶製茶技術実技研修等 ○先進的栽培技術研修 早期成園化技術等</p> <p>(5)補 助 率 1／3</p>		
担当課・係名	農 産 課 宇治茶特産振興担当	課・係 電話番号	075-414-4961

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	明日につなぐ農業支援事業費		
予算額	45,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨 国の戸別所得補償制度の導入に伴い特に影響を受ける集落営農組織等に対し緩和措置を講じるとともに、京都の特産物として実需者から高い評価を受けている大豆や小豆等について、産地間競争に打ち勝ち、将来にわたり安心して生産が続けられるよう、その生産を担う組織の法人化や経営強化、生産性向上等に向けた取組への支援を図る。		
	2 内 容 (1) 京の豆・野菜生産農家支援事業 (H22) 35,000千円		
	内 容	国の戸別所得補償制度の導入に伴い助成額が激減し、生産活動に影響のある小豆、野菜の生産組織等に対する助成	
	対象作物	小豆・野菜（旧制度で「団地化加算」の対象となっていたもの）	
補助率	旧制度助成額（担い手＋団地化加算後）の80%と新制度の差額を団地化面積に応じて助成（国の激変緩和相当額分と併せて措置）		
(2) 農業生産法人育成事業費 (H22～H24) 10,000千円			
内 容	① 地域特産物の生産を担う組織の法人化や法人の経営・生産出荷体制を強化する活動に対する助成 ② 法人設立サポート事業		
事業実施主体	① 法人化を目指す生産組合等 ② 京都府担い手育成総合支援協議会		
補助率等	① 1 / 2（上限：500千円/組織） ② 2,500千円		
担当課・係名	農産課 京の米・豆・保険担当 担い手支援課 担い手育成担当	課・係直通 電話番号	075-414-4953 4908

平成22年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部
農林水産部

事業名	消費者あんしんサポート事業費 きょうと「食の安心・安全」確保事業費		
予算額	30,406千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣旨 多発する食品偽装や残留農薬等、府民の食への不安が高まる中、関係部局が連携し、食品表示の適正化、食品衛生監視指導等を強化することにより、府民の食への信頼の回復を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品表示パトロール（継続：2,000千円） 産地偽装など食品表示に関する事件が多発する中、関係職員（農林水産・健康福祉・府民生活）が合同巡回調査を実施することにより、違反事実に効率的かつ迅速に対応し、食の安心・安全を確保する。 ○ 食品衛生監視指導（継続：13,986千円） 食品衛生推進員「京の食“安全見はり番”」等による自主衛生管理の推進、食品衛生監視機動班による事業者への監視・指導の実施や食品等の残留農薬、添加物等の検査体制を充実し、食の安心・安全を確保する。 ○ 食品検査（継続：4,669千円） 府内に流通している食品等の検査を行い、その結果を定期的に公表することにより食の安心・安全を確保する。 ○ 遺伝子組換え食品検査（継続：4,956千円） DNA検査機器により遺伝子組換え食品の分析を実施し、表示内容の検査を行うことにより、食の安心・安全を確保する。 ○ 拠点保健所業務管理基準（GLP）導入（継続：4,795千円） GLP（業務管理基準）の導入により、精度管理体制の構築、検証体制の整備を図り、検査の信頼性を確保する。 		
担当課・係名	健康福祉部生活衛生課食品衛生担当 農林水産部食の安心・安全推進課食の安全担当	電話番号	075-414-4773 075-414-5654

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京 都 モ デ ル フ オ レ ス ト 創 造 事 業 費		
予 算 額	12,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 [目 的 対 象 方 法 等]	<p>1 趣 旨 森林所有者、ボランティア団体、NPO、企業、大学、行政等の様々な分野が連携した地域組織を設置し、府民参画、府民協働による多様な森づくりを推進するとともに、京都モデルフォレスト協会が行う企業参加の森づくりや活動団体のネットワーク化等の取組と連携し、府民みんなで京都の森を守り育む「京都モデルフォレスト」運動を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>①モデルフォレストネットワークづくり事業 多様な主体の参画による「地域協議会」を設置し、地域ごとの多様な活動を推進するとともに、京都モデルフォレスト協会の取組を支援する。</p> <p>②府民参画促進事業 条例に基づく重点区域内で森林所有者と協定を締結して森林の利用及び保全を行う活動団体に対して、その活動に係る経費の一部を助成する。</p> <p>③森林利用保全促進事業 市町村による重点区域候補地の調査を支援するとともに、森林利用保全計画の策定に向けた合意形成を図る。</p> <p>3 事業主体 京都府、市町村等</p>		
担当課・係名	モデルフォレスト推進課	課・係 電話番号	075-414-5005

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	低コスト高生産システム技術養成事業費		
予算額	3,175千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 〕 〔 対 象 〕 〔 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 林業採算性が悪化している現状において、森林整備の推進には作業路網の整備や高性能林業機械等を活用したコスト削減が不可欠であり、それを担う人材の育成・確保が必要である。 そのため、高性能林業機械等を使用した低コスト林業の実践的な研修を実施することにより、低コスト林業推進の基幹的な担い手の養成を行う。</p> <p>2 事業内容 森林組合等の作業員に対し、高性能林業機械等を使用した低コスト林業実践のための実地研修を実施する。 ○低コスト作業路網の開設 ○高性能林業機械による伐採・集運材 （スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ 等） ○森林施業プランの作成</p> <p>3 実施方法 （財）京都府林業労働支援センターへの委託</p>		
担当課・係名	林務課 林業振興担当	課・係 電話番号	075-414-5014

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	野生鳥獣被害に強い地域づくり総合対策事業費		
予算額	140,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 野生鳥獣による農林業被害等を防止するため、有害鳥獣の捕獲の実施や地域ぐるみの防除対策を行うなど、幅広い取組を総合的に推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>①有害鳥獣捕獲 効果的な捕獲を推進するための協議会の開催や有害鳥獣の捕獲に要する経費</p> <p>②広域有害鳥獣捕獲 複数の市町村や隣接府県との連携による広域捕獲隊を編成し、広域的な有害捕獲を進め、効率的な捕獲の推進に要する経費</p> <p>③地域ぐるみで取り組む防除対策 有害鳥獣侵入防止柵の設置、バッファゾーン整備等に要する経費</p> <p>④森林生態系の保全・鳥獣生息環境の整備 クマ剥ぎ被害防止に要する経費</p> <p>3 実施主体</p> <p>①③ 市町村又は地域協議会 ②④ 市町村</p> <p>4 補助率</p> <p>① 1／2又は定額 ② 3／4 ③ 1／2又は55／100 ④ 85／100</p>		
担当課・係名	森林保全課 野生鳥獣担当	課・係 電話番号	075-414-5022

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	森林の恵みを届ける京の森整備事業費																																																				
予算額	1,542,542千円	新規・継続の別	新規																																																		
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 森林の有する国土保全・水源かん養・CO₂吸収機能や里山を保全する機能等を高度に発揮するため、間伐等森林整備を推進し、併せて森の恵みである木材の利用拡大を支援する。</p> <p>2 事業概要 間伐等森林整備や里山整備を実施し、府民参加による森づくりを推進するとともに、間伐材等府内産木材の利用促進に向けた取組を実施する。</p>																																																				
	<p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事 項</th> <th style="width: 15%;">予 算 額</th> <th style="width: 45%;">事 業 の 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #ffff00;"><環境の保全></td> </tr> <tr> <td>森林整備加速化10億円事業費【新規】</td> <td style="text-align: right;">1,093,580</td> <td>利用間伐や奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に推進</td> </tr> <tr> <td> 森づくり加速化事業費【新規】</td> <td style="text-align: right;">(300,000)</td> <td>奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に実施</td> </tr> <tr> <td> ふるさとの森づくり事業費</td> <td style="text-align: right;">(195,000)</td> <td>集落周辺の保安林等の間伐・除伐</td> </tr> <tr> <td> いのちと環境の森づくり事業費</td> <td style="text-align: right;">(40,580)</td> <td>高齢級林の間伐・除伐</td> </tr> <tr> <td> 公共事業費（造林・治山）</td> <td style="text-align: right;">(558,000)</td> <td>民有林・保安林での間伐・除伐</td> </tr> <tr> <td>豊かな里山再生事業費【新規】</td> <td style="text-align: right;">200,462</td> <td>病害虫や放置竹林の被害を防止し里山の再生を推進</td> </tr> <tr> <td> 里山荒廃防止対策事業費【新規】</td> <td style="text-align: right;">(94,200)</td> <td>ナラ枯れ・松くい虫等による被害や放置竹林の拡大による里山荒廃の防止対策に対する助成</td> </tr> <tr> <td> 古都の森景観保全対策事業費【新規】</td> <td style="text-align: right;">(100,000)</td> <td>京都市域の森林におけるナラ枯れ・松くい虫等による被害防止対策に対する助成</td> </tr> <tr> <td> 森林病害虫対策事業費</td> <td style="text-align: right;">(6,262)</td> <td>ナラ枯れや松くい虫等の防除対策</td> </tr> <tr> <td>環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業費</td> <td style="text-align: right;">36,500</td> <td>ウッドマイレージCO₂認証木材を使用した木造住宅の建築に対し、緑の交付金を交付間伐材流通促進支援、木材利用啓発活動等支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #ffff00;"><森の恵みの活用></td> </tr> <tr> <td>京の木の香り整備事業費</td> <td style="text-align: right;">200,000</td> <td>親水施設での府内産間伐材の利用促進</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #ffff00;"><モデルフォレスト運動の推進></td> </tr> <tr> <td>京都モデルフォレスト創造事業費</td> <td style="text-align: right;">12,000</td> <td>豊かな緑を守る条例に基づく府民参加による森づくりの推進</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,542,542</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			事 項	予 算 額	事 業 の 概 要	<環境の保全>			森林整備加速化10億円事業費【新規】	1,093,580	利用間伐や奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に推進	森づくり加速化事業費【新規】	(300,000)	奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に実施	ふるさとの森づくり事業費	(195,000)	集落周辺の保安林等の間伐・除伐	いのちと環境の森づくり事業費	(40,580)	高齢級林の間伐・除伐	公共事業費（造林・治山）	(558,000)	民有林・保安林での間伐・除伐	豊かな里山再生事業費【新規】	200,462	病害虫や放置竹林の被害を防止し里山の再生を推進	里山荒廃防止対策事業費【新規】	(94,200)	ナラ枯れ・松くい虫等による被害や放置竹林の拡大による里山荒廃の防止対策に対する助成	古都の森景観保全対策事業費【新規】	(100,000)	京都市域の森林におけるナラ枯れ・松くい虫等による被害防止対策に対する助成	森林病害虫対策事業費	(6,262)	ナラ枯れや松くい虫等の防除対策	環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業費	36,500	ウッドマイレージCO ₂ 認証木材を使用した木造住宅の建築に対し、緑の交付金を交付間伐材流通促進支援、木材利用啓発活動等支援	<森の恵みの活用>			京の木の香り整備事業費	200,000	親水施設での府内産間伐材の利用促進	<モデルフォレスト運動の推進>			京都モデルフォレスト創造事業費	12,000	豊かな緑を守る条例に基づく府民参加による森づくりの推進	合 計	1,542,542
事 項	予 算 額	事 業 の 概 要																																																			
<環境の保全>																																																					
森林整備加速化10億円事業費【新規】	1,093,580	利用間伐や奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に推進																																																			
森づくり加速化事業費【新規】	(300,000)	奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に実施																																																			
ふるさとの森づくり事業費	(195,000)	集落周辺の保安林等の間伐・除伐																																																			
いのちと環境の森づくり事業費	(40,580)	高齢級林の間伐・除伐																																																			
公共事業費（造林・治山）	(558,000)	民有林・保安林での間伐・除伐																																																			
豊かな里山再生事業費【新規】	200,462	病害虫や放置竹林の被害を防止し里山の再生を推進																																																			
里山荒廃防止対策事業費【新規】	(94,200)	ナラ枯れ・松くい虫等による被害や放置竹林の拡大による里山荒廃の防止対策に対する助成																																																			
古都の森景観保全対策事業費【新規】	(100,000)	京都市域の森林におけるナラ枯れ・松くい虫等による被害防止対策に対する助成																																																			
森林病害虫対策事業費	(6,262)	ナラ枯れや松くい虫等の防除対策																																																			
環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業費	36,500	ウッドマイレージCO ₂ 認証木材を使用した木造住宅の建築に対し、緑の交付金を交付間伐材流通促進支援、木材利用啓発活動等支援																																																			
<森の恵みの活用>																																																					
京の木の香り整備事業費	200,000	親水施設での府内産間伐材の利用促進																																																			
<モデルフォレスト運動の推進>																																																					
京都モデルフォレスト創造事業費	12,000	豊かな緑を守る条例に基づく府民参加による森づくりの推進																																																			
合 計	1,542,542																																																				
担当課・係名	林務課 林業振興担当 林産振興担当 森林保全課 森林土木担当 モデルフォレスト推進課	課・係 電話番号	075-414-5002 075-414-5009 075-414-5028 075-414-5005																																																		

平成22年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	森林の恵みを届ける京の森整備事業費 環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業費		
予算額	36,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府独自のウッドマイレージCO₂認証制度を普及・定着させ、京都府産認証木材の利用と流通を促進し、輸送過程の二酸化炭素の排出量を抑制するとともに間伐等の森林整備を促進することにより、府内産木材の需要拡大と環境対策を府民レベルで推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>【緑の交付金(環境にやさしい京都の木の家づくり支援事業) 27,800千円】</p> <p>ウッドマイレージCO₂認証木材を一定量以上使用した木造住宅を新築、又は増改築する「緑の工務店*」に対しその使用量に応じて緑の交付金を交付する。</p> <p>※緑の工務店：ウッドマイレージCO₂認証木材を使用した木造建築物を積極的に推進する計画を有する工務店で、府に登録したもの</p> <p>◆ 補助対象 府内に居住用に供されるために新增改築される住宅で、ウッドマイレージCO₂認証木材を5m³以上使用する住宅</p> <p>【間伐等素材生産コスト削減推進事業 7,500千円】</p> <p>生産コスト削減を図り、間伐材等の素材生産を行う森林組合等事業体に対し、その供給量に応じた支援を行い、将来の森林資源の循環利用の基盤づくりを推進する。</p> <p>◆ 事業主体 森林組合、素材生産業者</p> <p>【環境にやさしい京の木ふれあい推進事業 1,200千円】</p> <p>林業者等が組織する団体が行う木材に対する親しみや、木の文化への理解を深めるための活動等を支援し、ウッドマイレージ認証木材の普及と、府内産木材利用の一層の拡大を図る。</p> <p>◆ 事業主体 林業者等の組織する団体 府内産木材の生産者、流通業者、消費者等で組織する団体</p>		
担当課・係名	林務課 林産振興担当	課・係 電話番号	075-414-5009

平成22年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	地産地消推進対策費		
予算額	2,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 府内において、地元産畜水産物の情報発信や販路拡大を行い、府内の消費者や観光客に対して、地元産畜水産物の知名度向上と流通拡大を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 京都産畜産物流通拡大事業費 1,200千円 京都産畜産物について、流通・観光・飲食業界への情報発信や、有名料理店等への販路開拓支援を行い、府内の消費者や観光客に対して、京都産畜産物の知名度向上と流通拡大を図る。</p> <p>(2) 京の水産物地産地消推進事業費 800千円 量販店店頭等でのMSC制度・府内水産物の情報発信や、府南部の量販店等での府内水産物コーナーの設置支援を行い、府内の一般消費者に対して、MSC認証水産物等の府内水産物の知名度向上と流通拡大を図る。</p> <p>※MSC認証制度 ・ 国際NPO法人 海洋管理協議会（MSC：Marine Stewardship Council）が運営する水産資源の管理に優れた漁業を認証する制度。 ・ 京都府では、平成20年9月にアジアで初めて、一般社団法人 京都府機船底曳網漁業連合会が、ズワイガニ、アカガレイについて、認証された。</p> <p>3 事業主体 京都府</p>		
担当課・係名	畜産課 畜産振興担当 水産課 漁政企画担当	課・係 電話番号	075-414-4983 075-414-4992

平成22年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費		
予算額	2,117,134千円	新規・継続の別	継続(一部新規)
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地球温暖化の防止や水土保全、水源かん養等に不可欠な京都の森林について、「緑の公共事業アクションプラン」に基づき、「豊かな緑を守る条例」の制度を活用しながら、多様な主体の参加と連携で森林を守り育てる様々な取組を促進することにより、緑豊かな環境を守り、併せて新たな雇用を創出する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶京都モデルフォレストの推進 1事業 12,000千円 京都の森林を府民ぐるみで守り育てるモデルフォレスト運動を推進 ▶公益性の高い森林の整備 6事業 1,229,341千円 放置森林、風倒木被害森林や水源地域の森林等の整備推進 ▶新規雇用の創出 2事業 128,655千円 新規就業希望者への研修や森林整備事業を通じた担い手育成 ▶木質資源の積極的な利活用 8事業 392,400千円 公共事業等への間伐材利用の促進、ウッドマイレージCO2認証制度による府内産材利用の促進 ▶森林生態系の保全 5事業 354,738千円 野生鳥獣対策、森林病虫害対策の推進 		
担当課・係名	林務課 企画担当	直通電話番号	075-414-5015

緑の公共事業一覧

(単位：千円)

頁	区分	事業内容	予算額	担当部局
1	京都モデルフォレストの推進	京都モデルフォレスト創造事業費	12,000	農林水産部
2	公益性の高い森林の整備	いのちと環境の森づくり事業費	2,747	農林水産部
3		災害に強い森づくり事業費	6,975	農林水産部
4		安心・安全の森整備事業費[公共治山]	107,607	農林水産部
5		風倒木被害森林緊急再生事業費[公共造林]	15,257	農林水産部
6		低コスト高生産システム技術養成事業費	3,175	農林水産部
7		森林整備加速化10億円事業費【新規】	1,093,580	農林水産部
8	新規雇用の創出	緑の公共担い手育成事業費	1,655	農林水産部
9		「京の森」未来を担う人づくり推進事業費【新規】	127,000	農林水産部
10	木質資源の積極的な利活用	京の木の香り整備事業費	200,000	農林水産部
11		森のゼロエミッション治山事業費	19,200	農林水産部
12		緑の河川復活事業費	64,000	建設交通部
13		緑の溪流復活事業費	1,500	建設交通部
14		緑の散策道等再生事業費	9,000	建設交通部
15		府営住宅建設費	48,000	建設交通部
16		府営住宅ストック総合活用事業費	14,200	建設交通部
17		環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業費	36,500	農林水産部
18	森林生態系の保全	特定鳥獣保護管理推進事業費	14,276	農林水産部
19		野生鳥獣被害に強い地域づくり総合対策事業費【新規】	140,000	農林水産部
20		森林病虫害対策事業費	6,262	農林水産部
21		里山荒廃防止対策事業費【新規】	94,200	農林水産部
22		古都の森景観保全対策事業費【新規】	100,000	農林水産部
		合 計	2,117,134	

平成22年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事項名	農林水産部関係公共事業費																																													
予算額	4,580,061千円	新規・継続の別	継続																																											
事業内容 [目的 対象 方法等]	【平成22年度農林水産部関係公共事業費】																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課名</th> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">農村振興課</td> <td>府営農業農村整備事業</td> <td>京都府</td> <td>650,616</td> </tr> <tr> <td>団体営農業農村整備事業</td> <td>市町村 土地改良区</td> <td>591,234</td> </tr> <tr> <td>国直轄事業負担金</td> <td>国等</td> <td>1,359,358</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>2,601,208</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水産課</td> <td>沿岸漁場整備開発事業</td> <td>京都府</td> <td>56,782</td> </tr> <tr> <td>漁港関係施設等整備事業</td> <td>京都府 市町村</td> <td>315,864</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>372,646</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">林森 林務保 全課課</td> <td>造林事業</td> <td>市町村 森林組合等</td> <td>699,773</td> </tr> <tr> <td>林道事業</td> <td>京都府</td> <td>167,662</td> </tr> <tr> <td>治山事業</td> <td>京都府 市町村</td> <td>738,772</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>1,606,207</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>4,580,061</td> </tr> </tbody> </table>	課名	事業名	事業主体	予算額(千円)	農村振興課	府営農業農村整備事業	京都府	650,616	団体営農業農村整備事業	市町村 土地改良区	591,234	国直轄事業負担金	国等	1,359,358	小計		2,601,208	水産課	沿岸漁場整備開発事業	京都府	56,782	漁港関係施設等整備事業	京都府 市町村	315,864	小計		372,646	林森 林務保 全課課	造林事業	市町村 森林組合等	699,773	林道事業	京都府	167,662	治山事業	京都府 市町村	738,772	小計		1,606,207	合計			4,580,061	
課名	事業名	事業主体	予算額(千円)																																											
農村振興課	府営農業農村整備事業	京都府	650,616																																											
	団体営農業農村整備事業	市町村 土地改良区	591,234																																											
	国直轄事業負担金	国等	1,359,358																																											
	小計		2,601,208																																											
水産課	沿岸漁場整備開発事業	京都府	56,782																																											
	漁港関係施設等整備事業	京都府 市町村	315,864																																											
	小計		372,646																																											
林森 林務保 全課課	造林事業	市町村 森林組合等	699,773																																											
	林道事業	京都府	167,662																																											
	治山事業	京都府 市町村	738,772																																											
	小計		1,606,207																																											
合計			4,580,061																																											
担当課・係名	農村振興課基盤担当 水産課基盤整備担当 林務課林業振興担当 森林保全課森林土木担当	課・係電話番号	075 - 414 - 5048 075 - 414 - 4994 075 - 414 - 5002 075 - 414 - 5028																																											

平成22年度当初予算案主要事項説明

府民生活部・農林水産部

事業名	消費者あんしんサポート事業費		
予算額	246,223千円	新規・継続の別	新規
事業内容	<p>1 趣 旨 府民の安心・安全な消費生活を実現するため、地域で消費者を見守り、悪質事業者を許さない京都府づくりを推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1)地域を見守るくらしの安心推進員の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の地域見守り活動に加え、販売店の食品表示に係る情報を消費者あんしんチームに提供 ・見守り訪問チームを設置し、地域ぐるみで悪質事業者の活動を停止 <p>(2)チーム体制による困難案件の早期解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府、市町村、弁護士及び建築士等の専門家で構成する「消費者あんしんチーム」による相談サポート、あっせん案の提示及び事業者指導等 <p>(3)悪質商法をゆるさない京都府づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者への早期警告・処分、一括あっせんや集団訴訟支援による効率的な被害回復と悪質商法の抑止 ・弁護士による多重債務相談、多重債務に関する情報提供等 <p>(4)消費者行政・事故情報の一元化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くらしの安心・安全推進本部」による消費者行政に係る施策の企画・総合調整、重大事故発生時の各部への指示等 <p>(5)相談・検査体制の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の相談窓口整備や相談員設置に対する支援 ・食品の安心・安全を守る取組 など 		
担当課・係名	消費生活安全センター 食の安心・安全推進課	課・係 電話番号	075-671-0030 075-414-5654

平成22年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都未来を担う人づくり事業費 「京の農と森」未来を担う人づくり推進事業費		
予算額	182,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>将来の地域農林業の担い手となりうる人材を確保・育成するため、「担い手づくりサポートセンター」を設置し、入門講座・実地研修等を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 「担い手づくりサポートセンター」(仮称)の開設・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○求職者・「就農・就業サポーター」(農業法人・森林組合等)への情報提供 ○研修計画の企画・立案・実施等 <p>※「担い手づくりサポートセンター」(仮称)</p> <p>農林業関係団体が連携して設置(農業・林業分野別に設置)</p> <p>(2) 「就農・就業サポーター」による求職者の雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○雇用人数：100名(農業分野：50名、林業分野：50名) ○雇用期間：1年以内 <p>(3) 雇用者を対象とした人づくりの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「就農・就業サポーター」によるOJT研修の実施 ○「林業トレーニングセンター」(仮称)等の府関係機関と連携した入門講座等の開催 <p>※「林業トレーニングセンター」(仮称)</p> <p>林業就業希望者の技術レベルに応じた段階的かつ体系的な研修を実施するため、府が新たに設置</p>		
担当課・係名	担い手支援課 新規就農・金融担当 林務課 企画担当 林務課 林業振興担当 モデルフォレスト推進課	課・係 電話番号	075-414-4942 075-414-5001 075-414-5014 075-414-5013